

好学尚武

(部員達による) 中学校訪問

6月に入ると、今年度(夏季休業中)の体験入部申し込みが始まります。その前にといいことで、その案内をお渡ししに、本校野球部員が自分の出身中学校や所属していたチームに挨拶へ行く形をとらせていただきます。近況報告もしてくるよう伝えてありますので、話を聞いていただければと思います。よろしくお願ひ致します。

高校での部活動を通じて、成長した姿を見せられるといいんですが・・・

夏、近づく

中間考査を終えると、あっという間に夏の近づきを感じるようになります(暑い日が急に増える、夏大会まで約50日)。

学校行事(市高では体育祭)、梅雨(グラウンド使えない)、期末考査(中間終わったばかりですが、1ヶ月後にはもう期末考査)、バタバタしている間にすぐ夏(の大会)が来ます(それほどの高校も同じ)。

1日1日、集中することです。

とにかくチーム力を向上させる期間にしましょう!

26日(火)ですが(シード校として迎える)夏埼玉大会に向けての取材を受けることになりました。心も身体も夏モードで過ごすようにして下さい。頑張りましょう!

この期間を・・・

何度か書いているかも知れませんがお許し下さい。(3年生の)春～夏、この期間を充実したものにして欲しいのです。私は高校時代のこの期間、2番打者として「自由」を与えられました＝ノーサインです。自分で自チームのことをいうのも何ですが、私の代は市高が全国ベスト4まで進出したのを観て(当時中学3年生)入学したので、選手個々やチーム力は全国で戦えるぐらいあったと思います(夏、浦学を倒しているなのでその説得力もあるかと・・・)。

想像してみてください。

9番打者は身体は小さいもののホームランも打てる選手、足も速い、1番打者は9番をさらにスケールアップさせたような選手、足はもっと速い、そして2番打者私、今より体重マイナス20キロ(当時は私も俊足・笑)、3番打者は市高から野球の推薦で明治大学に進学した大型捕手(私の感覚だと練習試合の打率は7割ぐらい)、4番は同様に市高から野球推薦で東洋大学に進学、その後社会人野球でも活躍した投手(抜群のバッティングセンス)、そんな打線における、9・1番の出塁を3・4番につなげるという役割を自由にやってみると・・・最低でも(バントで)送った形、それ以上の形を目指せ、そんな指示だったと思います(打席内から走れというサインを出しました。それに応じて、打つ、見逃す、バントする・・・などの攻撃を仕掛けました)。

この期間の経験が今の私(母校で指導者)につながっています(同じような野球をしたい)。やらされるのではなく自分の(咄嗟の)判断や考えで動くことの大切さや楽しさを感じる・・・野球という競技の持っている「間(ま)」の使い方、そしてその醍醐味・・・高校野球の締めくくりになんか感じて欲しいのです。

この期間の過ごし方はその後の人生に影響するのではないのでしょうか?私自身がそうだったのでこれは大袈裟な表現ではありません。

「後輩達」の活躍、躍動を楽しみにしています。